

子宮頸がん予防ワクチンの接種の差し控えについて

平成25年6月14日に厚生労働省より通知があり、ワクチン接種後にワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が見られることから、副反応の発生頻度等が明らかになるまでの間、子宮頸がん予防ワクチンの接種を積極的にお勧めしないことになりました。

予防接種の中止ではありませんので、接種を希望する場合は定期予防接種として接種できます。接種の際は有効性とリスクを理解した上で接種するようお願いします。